PEAVEY

XXL USER'S MANUAL





株式会社サウンドハウス
Professional Sound Equipment Specialist
〒286-0044 千葉県成田市不動ケ岡 1958
TEL:0476-22-9333 FAX:0476-22-9334

はじめに

この取扱説明書には諸機能の説明、および各機能の使い方が詳しく書いてあります。商品の性能をフルに発揮させ、末永くお使い頂く為にはこの取扱説明書をよくお読みになり、注意点や警告については特に目を通して下さい。尚、お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管して下さい

ご使用の前に

1. この取り扱い説明書にしたがって操作して下さい。
2. 水には大変弱いので、雨などがかからないよう充分ご注意下さい。
3. 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
4. 本機の設置場所は直射日光の当たる場所やストーブの直前など、高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良い場所で御使用下さい。
5. 定格電圧 AC100V,50/60Hz で御使用下さい。
6. 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらない様御注意下さい。
7. 信号の入出力端子に、許容範囲を越える異常電圧が加わらない様にして下さい。
8. 故障や感電事故を防止すると共に、性能を維持する為にも、ケースを開けて内部に触れたりしないでください。修理が必要な時には、販売店、もしくは輸入代理店までお問い合わせ下さい。

主な機能

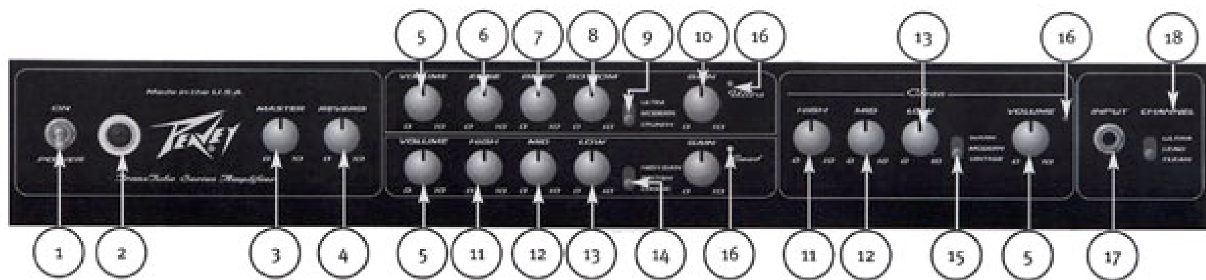
優れたスペックと素晴らしいサウンドを誇る XXL

Peavey XXL は、Peavey 社が開発した TransTube 真空管サウンド・シミュレーション回路のノウハウを長年にわたり蓄積した結果誕生した、最先端を行くギターアンプです。XXL は、かつてない重厚なチューブサウンドを綿密に再現可能なモンスターアンプでもあります。完全独立の 3 チャンネル仕様（クリーン/パッシブ EQ、リード/パッシブ EQ、ウルトラ/アクティブ EQ）により、想像力をくすぐるサウンドバリエーションを得ることができます。ヴィンテージモードでの透き通るようなクリーンサウンドから、ウルトラモードでの暴走寸前のスクリームサウンドまで、究極のフレキシビルティーを搭載した新開発の TransTube パワーアンプがあなたを魅了します。100W 以上の地響きのようなパワーを持つこの「巨獣」は、大ホールの屋根をも吹き飛ばすマスターボリュームを搭載しています。その他、25/50/100W 出力の 3 段切替もできます。さらには、フットスイッチによるアウトボードのトーンセレクトや、サウンドメイキングには欠かせないリバーブ機能も搭載しています。専用フットスイッチも付属で、過去のルールを覆す全てのツールが XXL にあります。

・完全独立の 3 チャンネル仕様
・ウルトラチャンネルにはボトム、ボディー、エッジのアクティブ 3 バンド EQ
・クリーン/リードチャンネルには 3 バンドパッシブ EQ
・各チャンネルに 3 ポジション EQ とゲインボイシングスイッチ
・100W（RMS）、4/8/16Ωの切替可能
・25/50/100W 出力の切替スイッチ
・パワーアンプ・ダンピングスイッチ搭載（tight/ medium/ loose）
・フットスイッチによる切替可能なエフェクトループ、エフェクトレベルスイッチ付き
・プリアンプ・アウト/パワーアンプ・イン・パッチング端子
・リバーブ
・マスターボリューム
・3 スイッチ仕様のフットスイッチ付属
・クラシックなパイロットランプ
・クローム加工のブラス製コントロールつまみ

各部の説明

フロントパネル



1. POWER SWITCH

このトグルスイッチで本体に電源を供給します。スイッチが ON の間は POWER STATUS LAMP（2）が赤く点灯します。

2. POWER STATUS LAMP

電源がアンプに供給されている際に赤いランプが点灯します。

3. MASTER VOLUME

アンプ全体の音量レベルを設定します。3 チャンネルの音量バランス設定後、このコントロールを回して全体の出力レベルを調節します。レベルは右回りに回すと増大、左回りに回すと減少します。

4. REVERB

全体のリバーブ・レベルを設定します。

5. VOLUME

3 チャンネル全てに個別に装備されており、各チャンネルのボリューム・レベルを調節します。

6. EDGE

ウルトラチャンネルの高域を調節するアクティブ・コントロールです（シェルビングタイプ±15dB)。

7. BODY

ウルトラチャンネルの中域を調節するアクティブ・コントロールです（ピーク/ノッチ±15 dB)。

8. BOTTOM

ウルトラチャンネルの低域を調節するアクティブ・コントロールです（シェルビング・タイプ±15 dB)。

9. ULTRA / MODERN / CRUNCH

ウルトラチャンネルに装備されたゲインおよび EQ モードを切り替えるには、この 3 段階スイッチを使います。

10. GAIN

ウルトラおよびリードチャンネルの入力ボリュームレベルを調節します。右回りに回すとプリアンプ・ディストーション、サステインのレベルが上がります。

11. HIGH

クリーンおよびリードチャンネルの高域を調節するパッシブ・コントロールです。

12. MID

クリーンおよびリードチャンネルの中域を調節するパッシブ・コントロールです。

13. LOW

クリーンおよびリードチャンネルの低域を調節するパッシブ・コントロールです。

14. HIGH GAIN / BRITISH / CLASSIC

リードチャンネルに装備されたゲインおよび EQ モードを切り替えるには、この 3 段階スイッチを使います。

15. WARM / MODERN / VINTAGE

クリーンチャンネルに装備された EQ モードを切り替えるには、この 3 段階スイッチを使います。

16. CHANNNEL ACTIVATION LEDs

アクティブ状態のチャンネルを表示します。ウルトラチャンネルがアクティブの場合、赤く点灯し、リードチャンネルの場合は黄色く点灯します。クリーンチャンネルの場合は緑色に点灯します。

17. INPUT

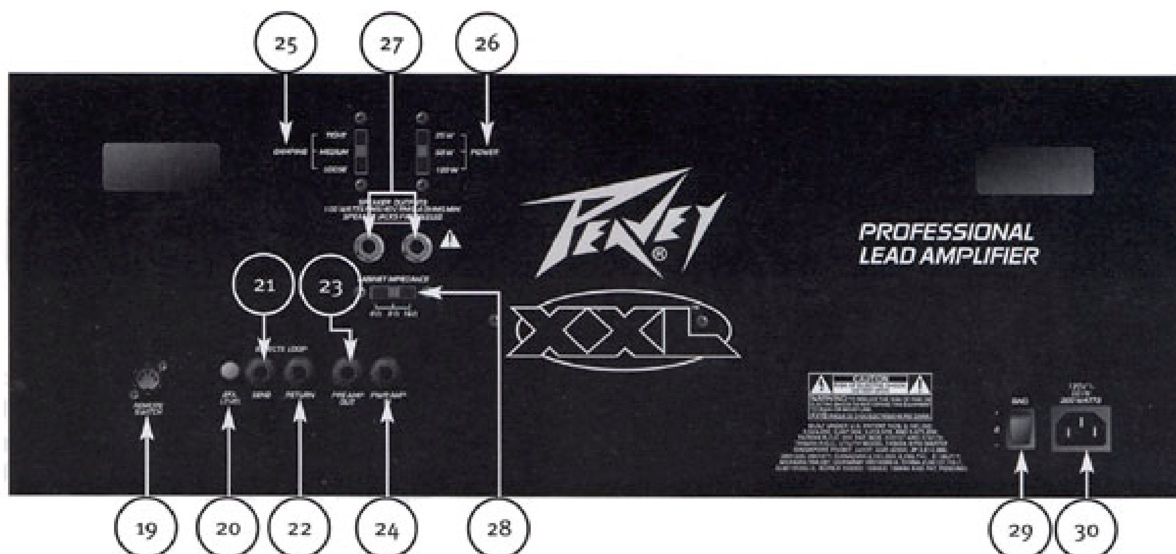
このフォン端子に、エレキギターのケーブルを差し込みます。

18. CHANNEL

この 3 段階トグルスイッチで XXL に装備された 3 チャンネルを切り替えます。アクティブ選択されたチャンネルによって、CHANNEL ACTIVATION LEDs（16）の点灯が異なります。チャンネル切替は付属のフットスイッチでも可能です。フットスイッチ操作の詳細については、本マニュアルの FOOTSWITCH セクションを参照ください。フットスイッチを使用するには、CHANNEL スイッチをウルトラに設定してください。

各部の説明

リアパネル



19. REMOTE SWITCH
この 7 ピン DIN コネクタを使ってフットスイッチと本体を接続します。フットスイッチの接続は、アンプに電源を供給する前に完了してください。

20. EFFECTS LEVEL SWITCH
エフェクト・ループのレベルを選択します。スイッチが OUT 状態の場合、エフェクト・ループレベルは－10dBV（0.3V RMS）です。IN 状態の場合、0dBV（1V RMS）です。

21. EFFECTS SEND
外部エフェクターやシグナル・プロセッサに信号を送信する出力端子です。

22. EFFECTS RETURN
外部エフェクターやシグナル・プロセッサからのリターン信号を受信する入力端子です。

23. PREAMP OUT
このプリアンプ出力端子を使い、アンプ加工された信号をプリアンプからミキシング・コンソール、テープレコーダなどに送信することができます。高品質のシールド・ケーブルをプリアンプ出力端子から、他機材のラインレベル入力端子に接続してください。このパッチングによってアンプの機能に悪影響が出ることはありません。

24. POWER AMP IN
ラインレベル信号を、XXL のパワーアンプに送信する際に使う入力端子です。高品質のシールド・ケーブルを使い、パワーアンプの入力端子を他機材のラインレベル出力端子に接続してください。

25. DAMPING
この 3 段階スイッチを使って、パワーアンプのダンピング・ファクターを調節します。ダンピングとは信号の消滅後、スピーカーコーンの振動をコントロールするアンプの性能を言います。ダンピング・ファクターを高く設定（TIGHT）すると、低設定（LOOSE）時よりコーンの振動停止がより早くなります。このスイッチを ON にすると、Peavey の他のアンプに装備されたレゾナンスおよびプレゼンス・コントロールを同時に使用した状態になります。ダンピング・スイッチの設定を変更すると、アンプのボリュームレベルも変更されるため、マスターボリュームの再調整が必要になります。

26.POWER
この 3 段階スイッチを使い、パワーアンプの出力レベルを調節します。このスイッチの機能は Peavey アンプに搭載された T. Dynamics コントロールと同等です。T. Dynamics コントロールは、低設定でより際立った真空管パワー・コンプレッション・シミュレーションが可能です。

27. SPEAKER OUTPUTS

並列フォン端子（モノラル、TS）によって、スピーカー・エンクロージャーを接続します。スピーカー・インピーダンスの最小単位は４Ωです。CABINET IMPEDANCE スイッチ（28）は、スピーカー・キャビネットの負荷量に合わせて設定してください。

28. CABINET IMPEDANCE

この 3 段階スイッチを使って、スピーカーキャビネット・インピーダンスの設定を行います。インピーダンスの同じスピーカーが 2 台ある場合、各インピーダンスの半分の値が適正値になります。例えば 16Ωのスピーカーが 2 台ある場合、CABINET IMPEDANCE は 8Ωに設定してください。スピーカー・インピーダンスの最小単位は 4Ωであることに留意してください。

29. GROUND POLARITY SWITCH

この 3 段階スイッチは通常、中央（0）に設定しておきます。スピーカーからハム・ノイズが発生する場合、このスイッチを＋またはーのどちらかに設定して下さい。

30. IEC MAINS CONNECTOR

標準 IEC 電源コネクタです。定格電圧用の AC プラグを含む AC メインコードを付属しています。メインコードは AC コンセントに繋ぐ前にアンプに接続してください。

フットスイッチ



31. ULTRA/LEAD SELECTOR

このスイッチでアンプの ULTRA と LEAD チャンネルの切り替えを行います。ULTRA が選択されている時はボタンの上の LED が赤く点灯し、黄色く点灯している場合は LEAD が作動しています。尚、各チャンネルを使用するには、CLEAN SELECTOR(32)がバイパス･モードになっていることを確認してください（緑色の LED が消えている状態)。

32. CLEAN SELECTOR

ULTRA/LEAD SELECTOR（31）の設定に関わらず、このスイッチを ON にするとクリーンチャンネルが選択されます。クリーンチャンネルが作動している間、LED が緑色に点灯します。ULTRA/LEAD SELECTOR（31）を使用するには、このスイッチをバイパス・モードにして下さい（緑色の LED が消えている状態)。

33. EFFECTS SELECTOR

このスイッチでアンプのエフェクトループ(20～22)を有効にします。各エフェクト・ループをアクティブにすると、隣接する LED が点灯します。

注意：フットスイッチを使用する場合、アンプの CHANNEL スイッチ（18）を ULTRA に設定してください。

XXL SPECIFICATIONS

Power Amplifier Section:

Rated Power and Load:
100 W RMS into 16, 8, or 4 Ohms

Power @ Clipping:
(typically @ 5% THD, 1 kHz, 120 VAC line)
100 W RMS into 16, 8, or 4 Ohms

Frequency Response:
+0 dB, -3 dB 50 Hz to 38 kHz @ 60 W RMS into 16 Ohms

Hum and Noise:
Greater than 85 dB below rated power

Power Consumption:
Domestic: 300 W, 60 Hz, 120 VAC
Export: 300 W, 50/60 Hz, 220-240 VAC

Preamp Section:

The following specs are measured @ 1 kHz with the controls preset as follows:
Low and High EQ @ 10, Mid EQ @ 0
Ultra and Lead Volumes @ 5
Bottom and Edge EQ @ 10
Body EQ @ 5
Master Level @ 10
Reberb @ 0
Nominal Levels are with Gain/Clean Volume @ 5
Minimum Levels are with Gain/Clean Volume @ 10
Damping @ TIGHT
Power @ 100 W

Clean Channel (vintage):
Nominal Input Level: -22.7 dB, 73 mV RMS
Minimum Input Level: -30.8 dB, 29 mV RMS
Maximum Input Level: -2.33dB, 765 mV RMS

Lead Channel (classic):
Nominal Input Level: -26.2 dB, 49 mV RMS
Minimum Input Level: -46.0 dB, 5 mV RMS

Ultra Channel (ultra):
Nominal Input Level: -60 dB, 1 mV RMS
Minimum Input Level: -80 dB, 0.1 mV RMS

Effects Send:
Load Impedance: 1 k Ohms or greater
Nominal Output Level:
Effects level switch “out” : -10.9 dBV, 285 mV RMS
Effects level switch “in” : -1.41 dBV, 850 mV RMS

Effects Return:
Impedance: High Z, 22 k Ohms
Designed Input Level:
Effects level switch “out” : -10.9 dBV, 285 mV RMS
Effects level switch “in” : -1.41 dBV, 850 mV RMS
(Switching jack provides Effects Send to Effects Return connection when not used)

Preamp Output:
Load Impedance: 1 k Ohms or greater
Nominal Output Level: -1.94 dBV, 800 mV RMS

Power amp input:
Impedance: High Z, 22 k Ohms
Designed Input level: -1.94 dBV, 300 mV RMS
(Switching jack provides preamp output to power amp input connection when not used)

Remote Footswitch:
Special 3-button unit with LED indicators (supplied)

System Hum and Noise @ Nominal Input Level:
(Clean channel, Modern, 20 Hz to 20 kHz unweighted)
Greater than 72 dB below rated power

Equalization:
Clean and Lead channels:
Low, Mid, and High passive EQ with three distinct voicings
Ultra channel: Bottom, Body, and Edge active EQ with 15 dB boost / cut on each band.

Dimensions and Weight:
11.0" (279 mm) H x 26.5" (673 mm) W x 11.0" (279 mm) D
41.2 lbs. (18.7 kg)